

第2期宮城県特別支援教育将来構想について

1 策定の背景及び現状

- 平成27年2月に「宮城県特別支援教育将来構想」を策定し、各種施策を展開。特別支援学校におけるセンター的機能の充実による就学前からの切れ目ない支援、居住地校学習などにより特別支援教育への理解は進んでいるところ。
- 一方で、特別な支援を必要とする幼児児童生徒が増加している中で、多様な教育的ニーズに応じた切れ目ない支援体制の確立や県立特別支援学校の狭隘化の解消等が引き続き求められている。
 - ・ 特別支援学級(小・中学校) H25:2,675人⇒R5:4,663人(74.3%増)
 - ・ 通級による指導(小・中学校) H25:2,251人⇒R5:4,571人(103.1%増)
 - ・ 県立特別支援学校 H25:2,173人⇒R5:2,345人(7.9%増)
- 以上のほか、現構想が令和6年度で終期を迎えることから、本県における特別支援教育の方向性を示すものとして策定するもの。

2 構想の基本的な考え方

障害の有無によらず、全ての幼児児童生徒の心豊かな生活と共生社会の実現を目指し、柔軟で連続性のある多様な学びの場の中で、一人一人の様々な教育的ニーズに応じた適切な教育を展開する。

- 現構想の考え方を継承しつつ、対象を幼児児童生徒に変更
- 将来構想本文において、現構想の「障害のある児童生徒」としていた部分を「特別な配慮や支援を必要とする幼児児童生徒」に変更

3 計画の期間

- 令和7年度を初年度とし、令和16年度までの10年間とする。
- なお、将来構想推進のために実施する具体的な施策及び取組について、別途実施計画を策定する。

4 今後の特別支援教育の進め方

目標1 自立と社会参加

幼児児童生徒が夢や希望を抱きながら、心豊かな生活を実現するための一貫した指導及び支援体制の整備

主な取組

- ・ 個別の教育支援計画等を活用した関係機関との連携による支援
- ・ キャリア・パスポート等の活用による社会的・職業的自立に向けた資質・能力の育成 等

目標2 誰一人取り残さない学校づくり

幼児児童生徒の多様な教育的ニーズに的確に対応した体制・環境の整備

主な取組

- ・ 県立知的障害特別支援学校の狭隘化の解消
- ・ 学習の質を高めるための教員の専門性向上 等

目標3 誰もが認め合う地域づくり

生活の基盤となる地域社会への参加を促進するための環境整備と共生社会の実現に向けた関係者の理解促進

主な取組

- ・ 児童生徒の地域社会への参加を見据えた、交流及び共同学習
- ・ 市町村教育委員会が行う研修事業等への支援 等

第2期宮城県特別支援教育将来構想（令和7年度～令和16年度）の概要

共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育システムの構築のための特別支援教育の推進により、公平性を高め、特別な配慮や支援を必要とする全ての幼児児童生徒が、地域において教育を受けることで、夢や希望の実現に向けて主体的に生きていく姿を、総合的に支援していくため、基本的な考え方を前構想から継承

将来構想の基本的な考え方

障害の有無によらず、全ての幼児児童生徒の心豊かな生活と共生社会の実現を目指し、柔軟で連続性のある多様な学びの場の中で、一人一人の様々な教育的ニーズに応じた適切な教育を展開する。

今後の特別支援教育の進め方

特別な配慮や支援を必要とする全ての幼児児童生徒が、主体的に社会参加できるよう自ら考え、判断できる力を身に付けるとともに、心豊かな生活を送ることができる共生社会の実現に向けた関係者の理解促進

【目標1】
自立と社会参加

幼児児童生徒が夢や希望を抱きながら、心豊かな生活を実現するための一貫した指導及び支援体制の整備

【目標2】
誰一人取り残さない
学校づくり

幼児児童生徒の多様な教育的ニーズに的確に対応した体制・環境の整備

【目標3】
誰もが認め合う
地域づくり

生活の基盤となる地域社会への参加を促進するための環境整備と共生社会の実現に向けた関係者の理解促進

【優先取組1】切れ目ない一貫した支援体制の確立

【優先取組2】多様な教育的ニーズに対応した教育環境等の充実・整備

【優先取組3】インクルーシブ教育システムの構築

【目標1】自立と社会参加

- 関係機関の連携による切れ目ない支援の充実
 - 乳幼児期の連携
 - 就学前（幼児教育施設）の連携
 - 就学中の連携
 - 卒業後の連携
- 卒業後の心豊かな生活への円滑な移行を支援する体制の充実
 - 生涯学習の推進のための取組の充実
 - 卒業後の充実した余暇活動のための支援
 - 卒業後の可能性を広げるための支援

【目標2】誰一人取り残さない学校づくり

- 多様な教育的ニーズに応じた学びの場の実現
 - 県立特別支援学校における教育環境の整備
 - 学びの場を主体的に選択できる進路支援の充実
 - ICT利活用等による特別支援教育の質の向上
 - 小・中学校等における特別な配慮や支援を必要とする児童生徒の学びの充実
 - 高等学校等における特別な配慮や支援を必要とする生徒の学びの充実

- 安全・安心な医療的ケアの実施体制等の整備
- 学習の質を高めるための教員の専門性向上
 - 全ての教員の特別支援教育に関する基礎的な知識、合理的配慮等に関する理解の促進
 - 特別支援教育を担う教員の専門性の向上と蓄積
 - 職能や教職経験年数に応じた特別支援教育に關する教員の資質能力の向上
 - 専門性向上を支える校内体制の整備

【目標3】誰もが認め合う地域づくり

- 共生社会の実現を目指した理解促進
 - インクルーシブ教育の更なる推進
 - インクルーシブ教育の推進に向けた理解啓発
 - 特別支援学校が地域において果たす役割の強化
- 市町村教育委員会へのサポート
 - 研修等事業の充実
 - 就学における相談支援の充実
 - 医療的ケア等の実施に関する支援

第2期宮城県特別支援教育将来構想実施計画（前期）（令和7年度～令和11年度）の概要

1 取組の視点

第2期将来構想で掲げる3つの目標を実現するため、実施計画（前期）においては、次の3点について優先的に取り組んでいく。

優先取組1：切れ目ない一貫した支援体制の確立

- 就学前から学校卒業後までの長期的な視点からの一貫した支援のための個別的教育支援計画等の作成・活用、次の段階への確実な引継ぎ
- 合理的配慮検討時等の児童生徒本人の参画と自ら選択する力と意思を表明する力の育成 等

優先取組2：多様な教育的ニーズに対応した教育環境等の充実・整備

- 県立知的障害特別支援学校の狭陰化の解消等による教育環境の改善
- 通常学級や通級による指導のほか、特別支援学級における合理的配慮への対応や児童生徒の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実 等

優先取組3：インクルーシブ教育システムの構築

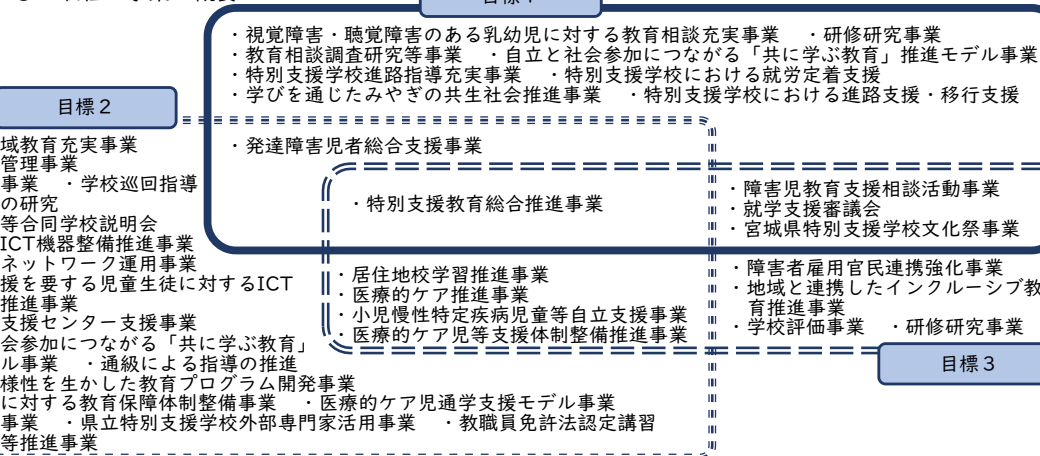
- 障害の有無によらず児童生徒が可能な限り共に教育を受けられる条件整備の推進
- 交流及び共同学習の更なる推進による学校と保護者及び地域へのインクルーシブ教育への理解促進 等

2 具体的な施策・取組

○ 目標ごとの取組・事業

目 標		取組・事業数（うち再掲事業）	
目標1 自立と社会参加	1 関係機関の連携による切れ目ない支援の充実	14	4
	2 卒業後の心豊かな生活への円滑な移行を支援する体制の充実	10	2
	2 卒業後の心豊かな生活への円滑な移行を支援する体制の充実	4	2
目標2 誰一人取り残さない学校づくり	1 多様な教育的ニーズに応じた学びの場の実現	29	7
	2 学習の質を高めるための教員の専門性向上	20	4
	2 学習の質を高めるための教員の専門性向上	9	3
目標3 誰もが認め合う地域づくり	1 共生社会の実現を目指した理解促進	13	4
	2 市町村教育委員会へのサポート	6	2
	2 市町村教育委員会へのサポート	7	2
計		56	15

○ 取組・事業の概要



○ 県立特別支援学校の施設整備 今後の整備方針

- 狭陰化への対応
国が定める「特別支援学校設置基準」に満たない学校等に対する、学校の在り方、老朽化対策、狭陰化への対応を含めた一体的な対策の検討
- 老朽化への対応
幼児児童生徒数の推移、狭陰化対策の計画等を考慮し、地域ごとに特別支援学校の在り方を勘案した検討

第2期宮城県特別支援教育将来構想説明会について

特別支援教育課

- 1 目 的 令和7年2月に策定した「第2期宮城県特別支援教育将来構想」の実施初年度にあたり、標記説明会を開催し、その普及啓発を図るもの。
- 2 対 象 県関係課室、市町村教育委員会、公立幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校、県教育事務所及び県総合教育センターに勤務する特別支援教育担当者等
- 3 主 催 宮城県教育委員会
- 4 期 日 令和7年5月23日（金）
- 5 会 場 宮城県行政庁舎101会議室（WEB配信も実施）
- 6 参加者 約160人（WEB参加者含む）
- 7 内容及び日程等
 - 13:30 受 付
 - 14:00 開 会
 - 14:05 挨拶（特別支援教育課長 佐々木 範子）
 - 14:10 講演「共生社会の形成に向けた特別支援教育の推進について」
～ インクルーシブ教育システム構築に向けて ～
講 師：東北福祉大学教育学部教育学科 教授 村上 由則
[宮城県特別支援教育将来構想審議会会長]
 - 15:10 （休憩）
 - 15:20 説 明 「第2期宮城県特別支援教育将来構想及び実施計画（前期）
について」（特別支援教育専門監 但木 伸行）
 - 15:40 質疑応答
 - 15:50 諸 連 絡
 - 16:00 閉 会